



給食と災害備蓄品における  
食物アレルギー対策について

公明党  
日吉 弘子

問 昨年6月定例会で、食物アレルギーをテーマに取り上げ、その10月には給食を食べられない児童に対し、給食費の還付をしていただきました。

一昨年の24年6月定例会の一般質問では、食物アレルギー対応給食の実施について答弁されましたが、その実施時期と教職員の研修状況について、また災害用備蓄品は自助での対応との答弁でしたが、市も避難所での誤食を防止するため、アレルギー対応と判別できる食品を備蓄することを望みますが、それぞれ市の考え方を伺います。

答 (教育長) : 昨年の12月に実施したアレルギー調査の結果を基にアレルギー食として対応可能なアレルゲンの絞り込みを行い、2学期から実施できるような準備を進めています。研修は、エピペンの使い方研修や緊急対応シミュレーション研修を主に実施しています。

答 (危機管理担当参事) : 災害時のアレルギー対応食としてアルファ化米を備蓄しており、今年度から新たにミルクの備蓄も行いました。そのほか、避難所にある「要援護者ベスト」を活用し、食物アレルギーである旨を記載し、誤食を防ぎます。

その他の質問

- ・公園整備および維持管理に対する取り組みについて
- ・子ども子育て支援の充実について



学校の非構造物の  
耐震化対策について

公明党  
戸澤 幸雄

問 地震などの災害時の子供たちの安全と、避難所としての機能を考えると学校の天井や窓ガラス等のいわゆる非構造物の安全対策を早急に実施する必要があります。

また、学校によっては、30年から40年を経過した古い建物の場合もあることから、雨漏りなどの局所的な問題個所も考えられます。各学校、建物などさまざまな課題を念頭におきながら、全体として、しっかりとした安全で安心できる対策を文部科学省が推奨する完了期限である27年度を目指して行なっていくべきと考えます。市としての見解を伺います。

答 (教育長) : 市内小中学校における屋内運動場の非構造部材の耐震化につきましては、本年3月議会において補正予算を計上し、12月初旬から工事を進め、来年の2月中旬に完了する予定です。窓ガラスについても、フィルムの貼り付けや強化ガラスの設置を現在11校に施工済みであり、未施工の8校についても順次対策を行ってまいります。市内全ての学校における非構造物の耐震化対策につきましては、27年度内完了を目指して、しっかりと推進してまいります。

その他の質問

- ・小学校教育について
- ・市民の健康増進について



バラエティーに富んだ  
小学校修学旅行の実現を

市民・ネットの会  
奥村 正憲

問 市内小学校の修学旅行先は、どの学校も栃木県の日光です。中学校は各校行き先が違うのに、なぜ小学校では各校の独自性が發揮されないのでしょうか。

答 (市長) : 修学旅行先は一律に同じ場所ではなく、各学校が、目的に応じた場所を決めて実施してほしいと考えています。たとえば、泊まるところは日光でも構いませんが、平泉市、姉妹都市の白石市、登別市などもよいのだと紹介しています。

答 (教育長) : 日光は本市に限らず、小学校の修学旅行先として定番となっています。

このことについて、これまで説明会では保護者から行き先を変えてほしいなどの意見はありませんでした。なお、日光は同じですが、活動内容や見学場所を工夫するなど、学校ごとの特色が見られます。

また、小学生が自分たちで修学旅行先を判断できるのか、という点がありますが、各学校の5・6年で行う、総合的学習のなかで調べ学習をした場所を行き先にすることも可能と考えます。

今後は、「学校経営在り方研究会」で、修学旅行のあり方にについて、各校校長と協議をしたいと考えます。

その他の質問

- ・介護保険制度改革と市の対応について
- ・全国学力テストについて



五千年前の  
望地遺跡保存を

市政改革の会  
飯田 英榮

問 5月中旬に望地遺跡発掘調査の見学会が開催されたところ、35人が見学に訪れるなど、市民の歴史に対する意識の高さを感じました。3月から5月下旬にかけて

1,000㍍の範囲で行われた第12次調査では、5000年前の堅穴式住居跡が2カ所発見されるなど、貴重な遺跡であることから、歴史と文化のまち海老名にあつた相模國分寺跡と合わせ、望地史跡地として保存するべきと考えますが、市の見解を伺います。

答 (教育部長) : 今回の発掘調査では、道路跡に関連した「駅家(うまや)」なども発見されておらず、文化財の観点からも、保存・整備の必要はないと考えています。そのため、記録保存として郷土史の普及や研究に役立ててまいります。

今後、相模国分寺跡や秋葉山古墳群に匹敵するような重要な発見があつた際には、史跡としての保存・整備を検討してまいります。

今回の見学会では、歴史や郷土、文化に対する市民の関心が高いことが把握でき、今後も発掘調査見学会や企画展を開催し、広く海老名市の歴史や文化財に触れる機会を提供してまいります。

その他の質問

- ・海老名駅西口地区のまち開きについて